

第36回防衛問題セミナー開催

開催日時：平成30年11月14日（水）1830～2020

開催場所：佐世保市民文化ホール（旧佐世保鎮守府凱旋記念館）
（長崎県佐世保市）

■ テーマ：明治150年記念セミナーin 佐世保
～旧軍港としての発展・そして未来へ～

○第1部

演題：「明治150年と日本の近代海軍建設」

講師：海上幕僚監部防衛部 3等海佐 金澤 裕之

○第2部

演題：「知らなかった！佐世保の近現代史」

講師：ジャーナリスト 井上 和彦

第36回防衛問題セミナー開催概要

開催日時：平成30年11月14日（水）
18：30～20：20

開催場所：佐世保市民文化ホール
(旧佐世保鎮守府凱旋記念館)
(長崎県佐世保市)



■ テーマ：明治150年記念セミナー in 佐世保 ～旧軍港としての発展・そして未来へ～

○ 第1部

演題：「明治150年と日本の近代海軍建設」

講師：海上幕僚監部防衛部 3等海佐 金澤 裕之

○ 第2部

演題：「知らなかった！佐世保の近現代史」

講師：ジャーナリスト 井上 和彦



開演挨拶
(三貝局長)

満席となった会場

終演挨拶
(川田副市長)

《セミナー概要》

11月14日（水）、九州防衛局は、長崎県佐世保市の佐世保市民文化ホールにおいて、「明治150年記念セミナー in 佐世保 ～旧軍港としての発展・そして未来へ～」と題し、『第36回防衛問題セミナー』を開催しました（来場者約300名）。

このセミナーは、明治元年から起算して満150年の節目の年となる本年、あらためて明治期を振り返り将来につなげていくことを目的とし、旧軍港としての発展を遂げた歴史を持つ佐世保にふさわしいテーマの講演を提供するため、佐世保市の共催を得て企画したものです。

はじめに主催者を代表して九州防衛局の三貝哲局長から挨拶した後、2部構成の講演が行われました。

第1部は、「明治150年と日本の近代海軍建設」をテーマに、防衛省海上幕僚監部の金澤裕之3等海佐から、歴史から学ぶ海軍の発展や現代の海上防衛の在り方等について講演しました。



第2部は、「知らなかった！佐世保の近現代史」と題し、ジャーナリストの井上和彦氏から、第一次世界大戦中に佐世保から派遣された旧海軍艦隊の地中海における活躍、とりわけ敵の攻撃を受けた外国船から多くの人々を救出し賞賛を受けたといった歴史に埋もれたエピソードなどを紹介しつつ、旧海軍の拠点としての鎮守府が置かれた佐世保が、日本の近代化に重要な役割を果たした歴史について講演しました。



質疑応答では、「時代の説明をする際は元号も用いてほしい」、「説明にあった海軍と宇宙空間との関わりとは具体的にはどのようなことなのか」、「説明にあった第二持務艦隊の関係資料はどこかに集約されていないか」など、大変熱心な多くの質問が寄せられました。井上和彦氏のユーモアあふれる対応で場内が笑いに包まれるなか講演は終了し、締めくくりに、共催者を代表し佐世保市の川田洋副市長が閉会の挨拶を行いました。

これら講演が明治期を振り返る一助となり、今後益々の佐世保市そして我が国の発展につながる有意義な機会になったと考えています。

九州防衛局は、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々に理解していただくため、九州各地で『防衛問題セミナー』を開催していく予定ですので是非ご参加ください。